

# 日銀の視点

平年よりは気温が高い日が多いものの、秋になって爽やかな日が増え、行楽に良い季節となっている。先月1日には、JRグループと、茨城県をはじめとする地域とが一体となって行う一大観光イベント、「茨城デスティネーションキャンペーン(DC)」が始まった。私も、当地着任後に、それまでは知らなかった本県の魅力を体感してきた者として、県外の知人に宣伝するとともに、自身でもイベントを楽しんでいる。

日銀水戸事務所長 上野 淳

10月7日には、水戸商工会議所がDCに合わせて企画・実施したサイクルイベントに参加した。水戸駅から国営ひたち海浜公園、ほしほも神社、海岸沿い、酒沼などを巡って水戸駅に戻ってくる約60

づくりハム、しらす丼、酒沼産しじみ汁といった本県の食も堪能した。同行したグループには、知人の誘いで東京方面から参加した方々もおられ、満喫されていたので、本県の魅力が確実に伝わったは

あったが、「駅で宣伝を見ました。吉永小百合さんが出ているCMもありますよね」といった反応もあり、関係者のご尽力の効果がうかがわれました。また、吉祥寺の駅ビルを歩いていたら、普段期間限定での物販が行われているエリアで、所狭しと茨城の物産が

本県は、農業算出額が47都道府県中3位(2021年)、製造品出荷額等が7位(20年)など、大消費地東京からの近さなどの強みを生かして第1次、第2次産業が全国上位にある。茨城DCを機に観光地としての魅力も全国に伝わり、関連産業の振興につながることを期待したい。(今回は12月9日掲載)

## 県内外で茨城DC体感

キのコースを選択。恵まれた天候の下、自然豊かな田園地帯や海岸沿いを走るだけでも爽快だ。加えて、海浜公園のコキアやコスモス、大洗磯前神社の神磯の鳥居といった写真映える景色も楽しんだ。さらに、しょうゆアイス、手

ずだ。10月後半に出張などで東京に戻った際には、会った知人の何人かに「茨城DC知っている？」と尋ねてみた。さまざまな娯楽があふれている東京での浸透は容易ではなく、「知らない」との反応も

販売されているのに遭遇した。地ビール、笠間の栗を使ったモンブランなどが置かれ、行き交う人々の関心を集めていた。今月は、「いばらきよいとこプラン」というツアー企画の一つへの参加を楽しみにし

ていた。しかし、先日、「応募多数で抽選となり、落選」との連絡を受けた。個人的には残念であるが、この企画が大人気を博していることは、大変喜ばしい。私自身は別途自力で訪れることを考えた